

第一生命グループの価値創造プロセス

第一生命グループは、「一生涯のパートナー」としての使命をこれからの時代においても果たしていくために、人々の「QOL向上への貢献」を通じた新たな社会課題の解決に貢献していきます。この考え方に基づく価値創造を、グループの総力を結集して世界中で展開することで、グループの成長性と持続可能性を高めていきます。

環境認識

ライフスタイルの多様化



グローバル化
デジタルネイティブの増加
テクノロジー進歩(医療・情報・科学)

人生100年時代の到来

高齢化に伴う課題の表面化

慢性疾患・認知症の増加
病気を抱えて生きる期間
(健康寿命と平均寿命の乖離)

約10年^{※1}

	平均寿命	健康寿命	差
男性	81.0	72.1	8.8
女性	87.1	74.8	12.4

老後の生活資金不足の懸念

老後の経済的備えに不安を感じる人の割合

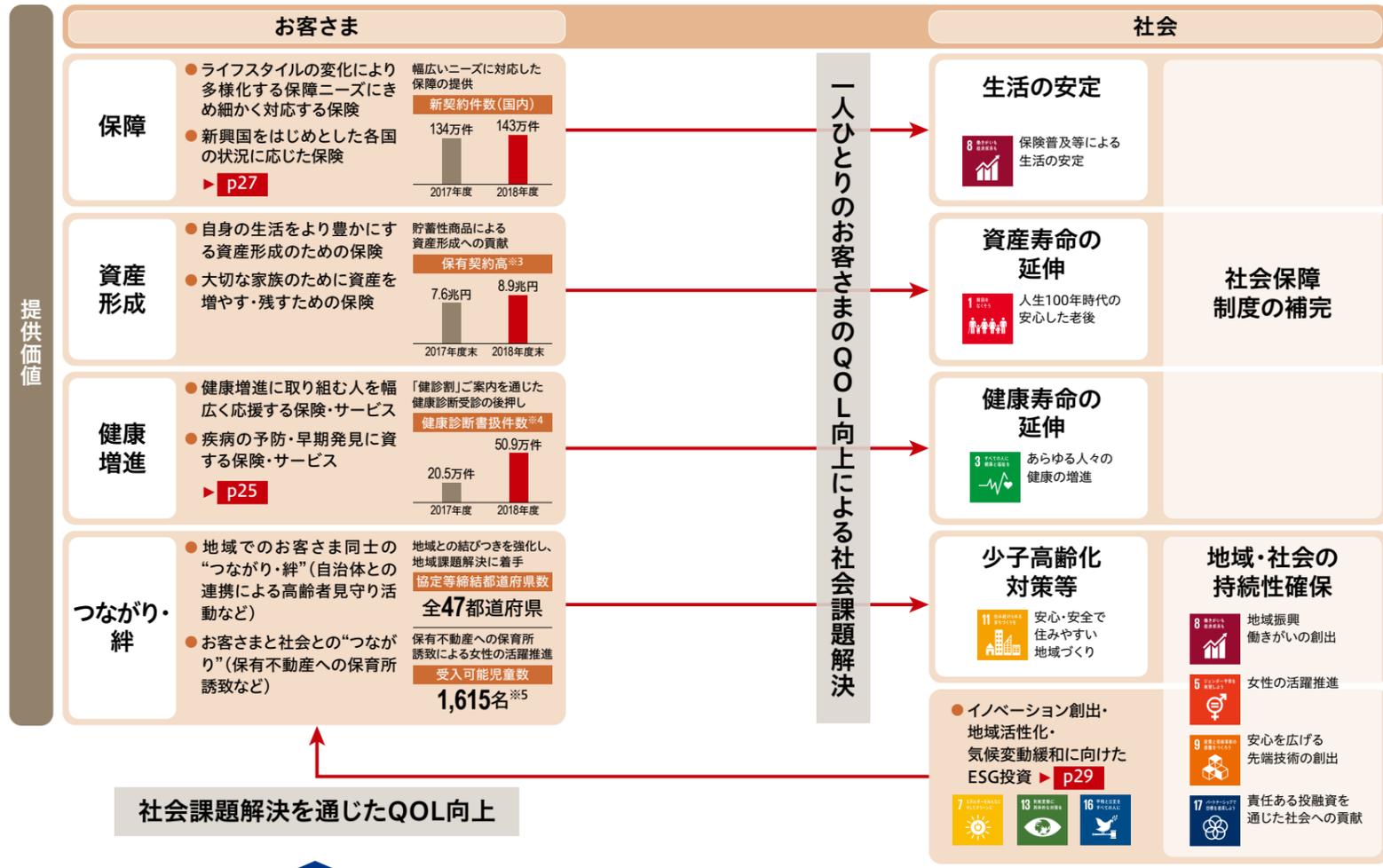
約70%^{※2}

※1 厚生労働省「簡易生命表」第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会資料(2016年度)
 ※2 生命保険文化センター平成30年度「生命保険に関する全国実態調査」
 ※3 第一フロンティア生命の保有契約高
 ※4 第一生命の健康診断書枚数
 ※5 全国保育所入所待機児童数(2011年4月時点)の約1割に相当する2,500名の受入れに向け取組みを継続
 ※6 2014年度および2017年度は一時的要素を除いた金額

第一生命グループが目指すお客さま・社会への価値創造

一生涯のパートナーとしてのQOL向上への貢献

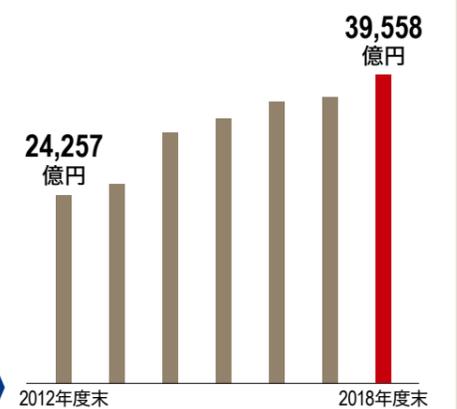
ライフスタイルが多様化するなか、当社は「QOL向上」を「一人ひとりが望む人生や生き方を実現すること」と捉え、その実現のために、従来の「保障」に加え「資産形成」「健康増進」「つながり・絆」に資する価値をお届けすることが重要だと考えます。



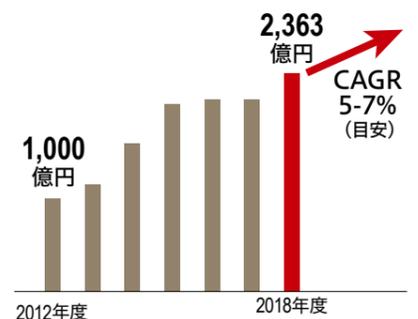
グループの成長

お客さま・社会への価値創造を通じた事業の持続的な成長

グループ保有契約年換算保険料



グループ利益成長のイメージ^{※6}



成長の実現により、グループ修正利益を中期経営計画期間中に2,500億円程度、次の計画期間をめぐりに3,000億円程度の水準到達を目指しています。

事業基盤のさらなる強化を通じ、提供価値の質・量を高め、お客さま・社会へ還元します。